

インドに新会社を設立



握手するラタン・N・タタ会長(左側)と矢崎副社長

TACO社と合弁

来年8月の生産めざす

矢崎総業は、タタ オートコンプ システムズ社(略称 TACO、本社インド・ボンベイ)と合弁で、ワイヤハーネスの製造・販売を行う「タタ 矢崎 オートコンプ プライベート リミテッド」(TATAYAZAKI AUTOCOMP PRIVATE LIMITED)を設立すること合意し、8月19日、ボンベイにて合弁契約書に調印した。

資本金は三億八〇〇〇万円(約二億三〇〇〇万円)、出資比率は矢崎総業五〇％、TACO社五〇％。

来年8月の生産立ち上げを目標に、事業化を推進中である。

TACO社はインドでは大財閥の一つであるTATAGループ内の自動車部品事業の展開を目的とする戦略会社で、同グループ内の自動車会社であるTELECO社(THE TATA ENGINEERING AND LOK

OMOTIVE COMPANY NY LIMITED)は、インドの商用車において圧倒的なシェアを持っている。タタ 矢崎 オートコンプ社は、TELECO社商用車向けワイヤハーネスの製造販売からスタートし、同社開発中の小型乗用車の受注も目指す。

同国内においては、ワイヤハーネス用部材の現地調達力が競争の決め手となっており、合弁契約には部材事業も視野に入れ、インド進出の外国企業への営業展開も図っていく。

当初の売上目標は、一九九八年に七〇〇〇万ルーピー(約二億二七〇〇万円)、一九九九年には一億九〇〇〇万ルーピー(約六億一八〇〇〇万円)を計画している。

矢崎としては一三四番目の海外拠点を、別荘では一九九九年目となる。

【新会社の概要】



州プリーナ市(PUNE)にて、合弁契約の調印をする。左から三人目がD.S.グプタ(タコ)社長、そして右側へ、ラタン・N・タタ(タタグループ)会長、矢崎副社長、松崎本部長、齊藤社長

島田製作所が起工式

新工場と厚生センターを新築

島田製作所の新工場および厚生センター新築起工式が8月28日、関係者約六〇〇人が集めて行われた。

起工式がめでたく納められたあと、直会(なほら)の席で、矢崎社長は「高度情報化社会に向けての技術革新がめざましい。島田製作所は、21世紀に魅力ある商品を提供していくために、従来の仕事を進めながら新工場を建設していくので、地域の皆さんにはご迷惑をかけると思いません。現在国内はもとより

州プリーナ市(PUNE)にて、合弁契約の調印をする。左から三人目がD.S.グプタ(タコ)社長、そして右側へ、ラタン・N・タタ(タタグループ)会長、矢崎副社長、松崎本部長、齊藤社長

社名	タタ 矢崎 オートコンプ プライベート リミテッド
所在地	マハラシュトラ州ボムベイ市(BOMBAY)
生産開始	一九九八年八月
定員	一五〇名
工場規模	敷地面積五万平方メートル
従業員	四八九名(一九九八年)・七五九名(一九九九年)のうち日本からの出向者は五名を予定
事業内容	自動車用ワイヤハーネスの製造・販売
出資比率	矢崎総業五〇％、TACO社五〇％
役員構成	TACO社三名(社長は、非取締役会メンバーで中立の人材を選定中)

【参考】TATAGループは貿易業に端を発し、一八六九年綿紡一貫工場の設立により、飛躍的に工業を遂げた。インドでは、ヒラ財閥と双壁をなす大財閥で、インド全土で事業を展開、グループ内の自動車会社であるTELECO社(THE TATA ENGINEERING AND COMPANY LIMITED)は、インドの商用車において圧倒的なシェアを持っている。現在のグループの総帥は、RATAN TATA(ラタン N タタ)氏である。



鉄入の儀で矢崎社長が斎歌

国外にも揺るぎない地歩を築いておられます。新工場も21世紀に向けて、さらなる発展をめざしておられます。私も一三〇五世帯は日頃、矢崎さんが、静岡空港建設に関して島田郡南口の開発という大きな課題を抱えています。共に今後の発展を……と挨拶。

さらに、青島邦夫(青島設計)の挨拶とつづき、午前二時頃から始まった起工式神事は、一時間(二〇分後)に納

められた。

厚生センターと新工場が建築される場所は、島田製作所の最南端、大井川寄りとのため、研修3棟、来客会議室、住宅1棟、女子寮2棟、計装部、製品倉庫、総務部、外來者ホールなどが、配置される予定に

二階建て(延面積二七〇〇平方メートル)で、本年12月18日竣工の予定。ゆとりをコンセプトに①ガラススクリーンによる解放的な食堂②二階にレイアウトされた大井川緑地への眺望のある食堂③室内から外部へと連続したリフレッシュゾーン……と実現し、体のエネルギーと心のリフレッシュを供給し、新たな仕事への活力を生み出す。ちなみに、一階にはシヨッピング、リフレッシュルーム、喫茶・サロン、クラブ、組合事務所が配置され、二階の食堂は四〇〇席で五交替の喫食となる予定。

一方、新工場は、鉄骨造り四階建て(延面積一五四四〇〇平方メートル)、平成10年9月20日竣工の予定。ロスの排除と環境整備をコンセプトに①生産システムをマッチングした最適空間の確保②多層層を利用した物流ルートの確保③間接的な外気取り入れと物流ルートの設定④パランスを実現し、高効率生産と高品質を満足する生産工場の構築をめざす。ちなみに、新工場には、電子実装組立工程をはじめ、設計、計装、開発部門、役員室、本部、長室、応接、来客会議室、部品・製品倉庫、総務部、外來者ホールなどが、配置される予定に

島田製作所の現在の建物(三、五年前)より移設、改築した工場であり、老朽化も著しく、工場補修にのりかたも年々膨大な経費がかかる一方で、耐震強度も不足。また、新規車種・高付加価値車種の受注拡大にもなろう生産スペース不足と高品質つくり込みの生産環境不備等を解消するため、新築工事に踏み切ったもの。

建築面積	二七〇〇平方メートル
延床面積	二七〇〇平方メートル
構造	鉄骨造り二階建て
着工	平成九年八月二十八日
竣工	平成九年十二月十八日
設計監理	鹿島建設
建築施工	鹿島建設
設計監理	鹿島建設
建築施工	鹿島建設



直会にて。神官の発声により神酒拝戴……



玉串奉奠をする長谷川雄健(島田)所長